# 平成29年度創作ゼミナール報告書

## 緑川研究室

ソ 27012工藤 結女(共同研究者:ソ 27005 太田 奈那)

#### テーマ

「ソフトウェア情報学部紹介サイトの作成」

## 研究目標

大学の公式ホームページ(以下、大学公式 HP)を見た際、内容があまりに簡素な書き方で伝わってこない、必要な情報の場所に辿り着きにくいと感じた。例えば研究室を紹介しているページも、公式 HP においては研究室を持つ先生方の半数が個人的に置いたものが疎らに存在するだけで、実際に入学してからのプレゼンテーションで初めて実態を知ることができる現状なのだ。この問題を払拭した『ソフトウェア情報学部の紹介サイト』を制作する。

## 研究内容

基本的なサイトの骨組みを作る為の「HTML」、装飾していく為の「CSS」、動きをつける為の「JavaScript」を使用して制作する。尚、これは同じく HTML の勉強をした太田奈那との共同で行うものとする。大学公式 HP に足りない情報について話し合った結果「青森大学の利点」「教員」「授業」「研究室」「資格」「アンケート」のページを用意することにした。その後、中に詰め込む情報の内容や、見やすい配置の仕方について検討した。私たちの研究室の教員である緑川先生の協力を頂いて、一人分の写真や動画を撮影した。それらを使用して、サンプルページを作成した。

## 結論•研究成果

今までは知識を持たず、「HP作成といえば HTML」という浅い考えしか持っていなかったが、私たちが普段見ているものに CSS や JavaScript、どれだけの技術が使われているのかを実際に使ってみることで実感した。ユーザビリティの時点から見たときに配置やデザインがどれほど重視されるかについても学ぶことができた。

画面構成、フレームページ作成、初期画面ページ作成、教員ページサンプル作成、教員一覧ページ作成、研究室ページサンプル作成、授業ページ一覧作成、授業ページサンプル作成、感想フォームページ作成が達成できた。全体の完成、教員への取材は達成できていないが、この制作は4年生次の卒業研究で行う予定である。

#### 考察

研究の進め方について考えたことは、「情報を1画面内に詰め込んだときの全体の見やすさ」だ。私たちの制作するホームページはコンパクトに見られるよう「スクロールを必要としない」ということを第一として作っている。必然的に画面内の情報量やリンクの量も多くなるので、どう配置すれば良いのかをよく考えた。

#### 改善点

現在、画像や文章の配置を画面左からの座標で固定しているが、これでは解像度の違うモニターで見たときにずれてしまう。4年生次ではこれを別の方法を使うことによって直していきたい。また、今後の可能性としては、デザインの一新や、現在 Google Chrome を主として作成しているので他ブラウザで見た際の調整、スマートフォンへの対応などが挙げられる。

## 参考文献

#### 書籍

- ・「HTML5&CSS3 デザインレシピ集」、狩野祐東、技術評論社
- ・「HTML5&CSS3 デザインきちんと入門」. 狩野祐東. SB Createve
- ・「Web デザインの基本きちんと入門」. 伊藤庄平 他4名. SB Createve

#### Web データ

- ・「青森大学」. <u>http://www.aomori-u.ac.jp</u>
- ・「色の名前とカラーコードが一目でわかる WEB 色」. https://www.colordic.org
- ・「サルワカ」. <a href="https://saruwakakun.com/html-css/reference/buttons">https://saruwakakun.com/html-css/reference/buttons</a>
- CSS Lecture]. http://www.css-lecture.com/log/convenience/001.html

### 作成途中画像

